

映画は夢だ。
人生は祭りだ。

Centenario dalla nascita di
**FEDERICO
FELLINI**

生誕100年

フェデリコ・ フェリーニ 映画祭

絢爛たる映像世界！

イタリアの巨匠、フェリーニの代表作がデジタル・リマスターで甦る！

『青春群像』『道』『甘い生活』『8 1/2』『魂のジュリエッタ』『フェリーニのアマルコルド』

Federico Fellini 100 is part of the Federico Fellini 100 Tour, a series of centennial tributes to Federico Fellini (1920-1993), which will travel to major museums and film institutions worldwide, coordinated by Paola Ruggiero and Camilla Cormanni Luce Cinecittà. All films (unless noted) have been digitally restored by Luce Cinecittà, Cineteca di Bologna and Cineteca Nazionale. La Strada has been digitally restored and provided by Beta Film GmbH.

主催：インスティテュート・ルーチェ・チネチッタ、マーメイドフィルム 配給：コピアボア・フィルム

協力：カルチュア・エンタテインメント、ザジフィルムズ、WOWOWプラス、フィールドワークス、KADOKAWA、インコントロ 後援：イタリア文化会館

LUCE
CINECITTÀ

MERMAID FILMS

COPIA BOA FILM

INSTITUTO ITALIANO CINEMA

fellinifilmfesjapan.com

**FELLINI
100**

**RIMINI
1920-2020**



フェリーニ映画を観ること

岡本太郎 | 翻訳家

フェリーニはイタリアでは誰よりも、世界でもっとも愛された映画監督の一人だ。映画という括りを外しても単なる天才ではなく、文字通り不世出で唯一無二の、かけがえのない存在である。

フェリーニ映画を観るのは、今日的に映画に興じるのとはまったく違うし、ただ古き良き時代の名画に浸るのとも異なる。幕が上がるや、いきなり奇天烈なフェリーニ・マジックが目まぐるしく炸裂する異界への招待に始まり、荒唐や困窮と希望や自由が共存し、いかがわしくも奔放で必死だった戦後から経済ブームに浮かれてあつという間に足が地を離れていった60年代へ、同時代の混沌に酔いしれ、振り回される愉しみと熟成されて芳醇な果実を生んだ記憶、そして果てしない幻想とのあいだで70～80年代へと魔法の杖は振り続けられ、アイロニカルでいたずらな目を通してのみ出会える昇華された現実、クリエイティヴなリアリティが銀幕に映し出された。人々が愛した、夢見心地でサーカスのようにシュールで、懐かしくメランコリックで優しい人生の味わいがする世界だ。



青春群像

I Vitelloni | 1953年 | モノクロ | 107分
出演：フランコ・インテルレンギ、アルベルト・ソルディ、フランコ・ファブリーツィ

故郷リミニを思わせる地方都市を舞台に、定職を持たずいい加減な生活を送る5人の青年たちの彷徨と旅立ちの物語。自伝的要素の濃い作品として知られ、ヴェネツィア国際映画祭でサン・マルコ銀獅子賞を受賞、米アカデミー賞でも脚本賞にノミネートされるなど、フェリーニが世界的に認められるきっかけとなりながらも、日本では『道』がヒットした後の1959年によく公開された。

道

La Strada | 1954年 | モノクロ | 107分
出演：アンソニー・クイン、ジュリエッタ・マシーナ、リチャード・ベースハート

死んだ姉の代わりに、旅芸人ザンパノのパートナーとしてわずかな金額で買い取られたジェルソミーナ。度重なる暴力やサーカス団の男との出会いや別れを経験しつつもザンパノと行動を共にするジェルソミーナだったが、ザンパノは彼女をあっけなく捨ててしまう。ニーノ・ロータ作曲の哀切なメロディとともに、粗野な男と純粋な魂を持った女の心の旅が描かれるフェリーニの代表作。

甘い生活

La Dolce Vita | 1960年 | モノクロ | 174分
出演：マルチェロ・マストロヤンニ、アニタ・エクバーグ、アヌーク・エーメ

ゴシップ紙の記者マルチェロの目を通して、1950年代後半のローマを我が物顔で闊歩する上流階級、カトリック教会、知識人、芸能人たちの退廃的な生活を絢爛に描く。ヘリコプターに吊り下げられたキリスト像が上空を行く冒険のカットから鮮烈なイメージ満載の、フェリーニ美学の頂点とも言える作品。本作でマストロヤンニが一躍スターとなった。カンヌ国際映画祭でパルムドール受賞。

8 1/2

8 1/2 | 1963年 | モノクロ | 138分
出演：マルチェロ・マストロヤンニ、アヌーク・エーメ、クラウディア・カルディナーレ

映画監督のガイドは、新作の構想を練るため温泉地へとやってくるが、一向に作業がはかどらない。次第に彼は過去と現在、現実と幻想の垣根を飛び越えていき…。盟友マストロヤンニがフェリーニ自身を思わせるガイドに扮して繰り広げられるめくるめく映像世界。あまりの奔放さ故、公開当時の観客、批評家は戸惑ったが、後の映像作家たちに多大な影響を与えるなど、その魅力は普遍的な輝きを放つ。

魂のジュリエッタ

Giulietta degli spiriti | 1965年 | カラー | 144分
出演：ジュリエッタ・マシーナ、サンドラ・ミロ、マリオ・ピス

15回目の結婚記念日を迎えたものの、夫の浮気に悩まされ、満たされない日々を送る平凡な主婦ジュリエッタ。ある古い師との出会いをきっかけに彼女の意識は日常生活から解放され、夢と現実を行き来するようになる。『8 1/2』の女性版とも言えるファンタジックな物語。フェリーニにとって長編としては初のカラー作品で、その効果を最大限活かした万華鏡のような色彩美が観る者を圧倒する。

フェリーニのアマルコルド

Amarcord | 1973年 | カラー | 124分
出演：ブルーノ・ザニン、マギリ・ノエル、ブベッラ・マッジョ

フェリーニが幼少期を過ごした1930年代のリミニでのエピソードをふんだんに盛り込み、家族やユニークな人々とふれ合いながら大人の世界を覗き込む少年たちの姿が季節の移り変わりと共に大らかに描かれる。原題は「私は思い出す (A m' arcordo)」を意味するローマ地方の方言からつくられた造語。70年代のフェリーニ作品の中で特に人気が高く、4度目のアカデミー賞外国語映画賞をもらった。

A＝『青春群像』 **C**＝『甘い生活』 **E**＝『魂のジュリエッタ』
B＝『道』 **D**＝『8 1/2』 **F**＝『フェリーニのアマルコルド』

料金：1300円均一
※超!学割シネマ対象作品
その他 割引適用不可

元町商店街4丁目

元町映画館

☎03 366 2636 motoei.com

10/24(土)	10/25(日)	10/26(月)	10/27(火)	10/28(水)	10/29(木)	10/30(金)
12:30 B	12:30 D	12:30 A	12:30 E	12:30 C	12:30 F	12:30 B
14:40 C	15:10 E	14:40 F	15:20 B	15:50 A	15:00 D	14:40 E
10/31(土)	11/1(日)	11/2(月)	11/3(火)	11/4(水)	11/5(木)	11/6(金)
15:10 D	15:10 B	15:10 C	15:10 D	15:10 E	15:10 A	15:10 F
17:50 A	17:20 F	18:30 B	17:50 F	18:00 D	17:20 C	17:50 D